

平成 28年度

社会福祉法人 一羊会

# 事業報告書

社会福祉法人 一羊会

秋田市山内字上台15番地2

TEL 018(827)2310(代)

(827)2311(FAX 兼)

# 法人事業報告書

# 平成28年度法人事業報告書

## 1. 法人の運営について

平成28年度は法人運営を円滑に行う為、6回の理事会と評議員会を開催し、本部、各事業所の事業計画書(案)・収支計算書(案)、事業報告、収支決算報告及び、施設整備計画の実施(新規事業所建物建設等)による定款変更、諸規程の一部改正等を審議した。

## 2. 法人の事業及び事務について

### (1) 理事会、評議員会等開催状況

- 平成28年 5月21日
  - ・平成27年度社会福祉法人一羊会事業報告及び収入支出決算書について(本部・事業所・グループホーム他)
  - ・平成27年度社会福祉法人一羊会収入支出補正予算(案)について(本部・施設・グループホーム他)他
  - ・新規事業について
- 平成28年 6月17日
  - ・車両補助金申請(日本財団)について
- 平成28年 8月25日
  - ・秋田市社会福祉法人補助金申請(スプリンクラー設置工事)について
- 平成28年 9月21日
  - ・社会福祉法人一羊会杉の木園空調設備及び外壁・内部改修工事補助金申請について
  - ・指定障害福祉サービス事業計画協議書の提出について
  - ・借入金借り替えについて
- 平成28年12月 2日
  - ・社会福祉法人一羊会定款変更について
  - ・社会福祉法人一羊会評議員選任・解任委員会(案)の設置について
  - ・社会福祉法人一羊会諸規程の設置について
  - ・One memory 建設に係る借入金及び担保提供について
  - ・社会福祉法人一羊会育児休業規程の一部変更について
  - ・平成28年度社会福祉法人一羊会本部、事業所、グループホーム収入支出補正予算書(案)について
  - ・職員人事について
- 平成29年 3月13日
  - ・統括管理者(澤田修明)、管理者(進藤香代子、佐藤博樹)在職期間延長について
  - ・社会福祉法人一羊会定款変更について
  - ・グループホーム「竹飛歩」「にぎやか倶楽部」スプリンクラー設備設置について(補助金内定、業者選定、入札等について)
  - ・グループホーム「竹飛歩」「にぎやか倶楽部」防犯カメラ設置について
  - ・社会福祉法人一羊会育児休業規程の一部変更について
  - ・One memory 建設に係る借入金及び担保提供について
  - ・平成28年度社会福祉法人一羊会事業所、グループホーム収入支補正予算書(案)について
  - ・平成29年度社会福祉法人一羊会本部、事業所、グループホーム事業計画



杉の木園 秋田市山内字上台 15 番地 1、15 番地 2 (4,290. 81 m<sup>2</sup>)  
(年間借地料 216,256 円)

②秋田市借用地  
明日葉 秋田市手形字大松沢 346 番 1、346 番 10 (280 m<sup>2</sup>)  
(年間借地料 44 円)

③個人借地 (佐々木則夫氏)  
風和里 秋田市山内字田中 311 番 3 (527 m<sup>2</sup>)  
(年間借地料 12,000 円)

④個人借地 (大塚久氏)  
One memory 秋田市新屋船場町 8 (214,87 m<sup>2</sup>)  
(年間借地料 240,000 円)

### 3. 職員の配置 (採用・退職)

平成 28 年 4 月 25 日	採用	支援員 富田 彩文	平成 28 年 11 月 14 日	採用	支援員 斉藤 准一
平成 28 年 5 月 20 日	採用	事務員 竹村佳奈美	平成 28 年 12 月 1 日	採用	支援員 鶴岡 正人
平成 28 年 6 月 1 日	採用	支援員 木場 寛晶	平成 28 年 12 月 31 日	退職	支援員 齋藤 孝平
平成 28 年 6 月 13 日	採用	支援員 石田 朋枝	平成 29 年 1 月 1 日	採用	支援員 福田 洋一
平成 28 年 8 月 16 日	採用	支援員 利部真由美	平成 29 年 3 月 1 日	採用	支援員 黒川 寛菜
平成 28 年 10 月 17 日	採用	支援員 齊藤由美子	平成 29 年 3 月 31 日	退職	支援員 斉藤 准一
平成 28 年 11 月 30 日	退職	支援員 松橋 明人			

嘱託医	沓澤 佳子
-----	-------

職名	氏名	職名	氏名
統括管理者	澤田 修明	(とうふ屋丸木橋六兵衛)	
(杉の木園)		1. 就労事業部長	佐藤 博樹
1. 管理者	進 藤 香代子	2. 管理者	伊藤 雅人
2. 主任支援員	小松 健一	3. 主任支援員	山崎 唯史
3. 主任支援員	藤原 美紀	4. 支援員	桜庭 麻也
4. 支援員	藤田 聡人	5. 支援員	佐々木 あずさ
5. 支援員	佐々木 悟	6. 支援員	伊藤 春樹
6. 支援員	鈴木 博人	7. 支援員	利部 真由美
7. 支援員	伊藤 匡		7名
8. 支援員	木場 寛晶	(夢・究塾明日葉)	
9. 支援員	石黒 はま子	1. 管理者	横尾 寧則
10. 支援員	佐藤 麗子	2. 主任支援員	菅原 千佳子
11. 支援員	加藤 琢磨	3. 支援員	柴田 三郎
12. 支援員	齋藤 由美子	4. 支援員	工藤 貴紀
13. 支援員	鶴岡 正人	5. 支援員	赤坂 宏秀
14. 支援員	福田 洋一	6. 支援員	組谷 英子
15. 支援員	黒川 寛菜	7. 支援員	菅原 由真
16. 支援員	松橋 洋子	8. 支援員	石田 朋枝
17. 補助員	高田 幸芳		8名
18. 総務主任	菊地 真由子		
19. 支援員兼事務員	竹村 佳奈美		
20. 栄養士	深浦 ますみ		
21. 看護師	大富 京子		
	計 21 名		
			総計 37 名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
(グループホーム竹飛歩)		(グループホームずっと)	
1. 世 話 人	小 松 佑 子	1. 世 話 人	佐 藤 忠 和
2. 世 話 人	佐 藤 尚	2. 世 話 人	鷺 谷 慎 五
	2 名	3. 世 話 人	佐 藤 とも子
(グループホーム にぎやか倶楽部)		4. 世 話 人	丸 山 寿 子
1. 世 話 人	三 浦 はるみ	5. 生 活 支 援 員	滝 沢 基 也
2. 世 話 人	秋 由 恵美子	6. 生 活 支 援 員	泉 博
	2 名	7. 生 活 支 援 員	大 友 とよ子
(グループホーム風和 里)		8. 生 活 支 援 員	大 瀨 幸 子
1. 生 活 支 援 員	高 田 芳 夫	9. 生 活 支 援 員	羽 沢 孫三郎
2. 生 活 支 援 員	伊 藤 大 治	10. 生 活 支 援 員	平 嶋 修 一
3. 生 活 支 援 員	池 田 行 美	11. 生 活 支 援 員	鎌 田
4. 世 話 人			1 1 名

(平成 29 年 3 月末現在)

# I 運営基本概要

## 1 設置目的

杉の木園及びとうふ屋丸木橋六兵衛、夢・究塾明日葉は、社会福祉法第24条の原則に沿って社会福祉法人一羊会が設置する事業所であり、在宅障害者（原則として18歳以上）が、福祉サービスの利用主体としての「個人」の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域生活において営むことができるよう支援することなどを目的とする。

## 2 施設の概要

### （沿革）

平成7年	5月22日	法人認可	
平成7年	6月22日	日本自転車振興会、秋田県、秋田市の補助にて「杉の木園」工事着工	
平成7年	10月20日	「杉の木園」竣工	
平成7年	11月1日	知的障害者通所更生施設「杉の木園」事業開始	定員30名
平成10年	4月1日	杉の木園分場「丸木橋」事業開始	定員15名
		＜平成2年6月より無認可施設として運営 旧丸木橋福祉作業所＞	
平成10年	6月1日	杉の木園分場「丸木橋」定員増	定員19名
平成12年	10月1日	グループホーム「竹飛歩」開設	定員4名
平成13年	6月1日	杉の木園分場「明日葉」事業開始	定員15名
平成14年	4月1日	グループホーム「竹飛歩」移転定員増	定員5名
平成14年	4月1日	知的障害者施設短期入所事業（ショートステイ）開始	定員5名
平成15年	4月1日	グループホーム「竹飛歩」定員減	5名
平成15年	10月1日	グループホーム「にぎやか倶楽部」開設	定員4名
平成17年	4月1日	グループホーム「にぎやか倶楽部」定員増	定員5名
平成17年	6月1日	グループホーム「にぎやか倶楽部」定員減	定員4名
平成17年	6月1日	知的障害者施設短期入所事業（ショートステイ）開始	定員2名
平成18年	10月1日	＜障害者自立支援法施行による新規指定＞	
		杉の木園分場丸木橋短期入所サービス事業指定	定員2名
平成18年	10月1日	＜障害者自立支援法施行による新規指定＞	
		共同生活援助事業指定「グループホーム竹飛歩」	
		（竹飛歩・にぎやか倶楽部が一体）定員9名	
平成19年	3月31日	共同生活援助事業指定「杉の木園グループホーム事業所竹飛歩」	
		（ケアホーム一体型）定員9名	
平成20年	4月1日	事業体系移行により	
		杉の木園 生活介護事業開始	定員34名
		杉の木園 就労継続支援B型事業開始	定員14名
		杉の木園 就労移行支援事業開始	定員12名
平成20年	10月1日	ケアホーム「ずっと」開設	定員10名
		杉の木園 短期入所事業（ショートステイ）開始	定員10名
平成21年	5月1日	杉の木園 短期入所事業（ショートステイ）定員減	定員3名
		ケアホーム「ずっと」定員増	定員15名

平成22年 1月 1日 ケアホーム「ずっと」定員増 定員16名  
グループホーム「にぎやか倶楽部」定員減 定員4名

平成23年 1月 1日 分場廃止に伴う事業再編  
杉の木園 生活介護事業(定員20名)変更  
とうふ屋丸木橋六兵衛 生活介護事業(定員7名)開始  
就労継続支援B型事業(定員13名)開始  
夢・究塾明日葉 就労継続支援B型事業(定員10名)開始  
就労移行支援事業(定員10名)開始

平成23年10月 1日 グループホーム「竹飛歩」 移転 定員増 定員7名

平成24年 4月 1日 グループホーム「にぎやか倶楽部」 定員増 定員5名

平成24年 7月 1日 グループホーム「にぎやか倶楽部」 移転

平成26年 4月 1日 グループホーム「にぎやか倶楽部」 定員増 定員6名  
夢・究塾明日葉 就労支援事業(定員10名) 廃止  
夢・究塾明日葉 自立訓練(生活訓練)事業(定員10名) 開始

平成26年 9月 1日 グループホーム「風和里」開設 定員5名

( 設置、経営主体 ) 社会福祉法人 一羊会

( 敷地面積、建物構造及び建物面積 )

	土 地	建 物
杉の木園	4,290.81 m <sup>2</sup> (借地・秋田市) 1,474.17 m <sup>2</sup> (自己所有)	492.92 m <sup>2</sup> (鉄骨平屋建) (自己所有)
グループホームずっと ショートステイ		630.59 m <sup>2</sup> (木造平屋建) (自己所有)
とうふ屋丸木橋六兵衛	2,232.00 m <sup>2</sup> (自己所有)	176.32 m <sup>2</sup> (木造平屋建) 62.93 m <sup>2</sup> (食堂) 34.57 m <sup>2</sup> (車庫) 14.90 m <sup>2</sup> (作業場) (自己所有)
夢・究塾明日葉	3,963.68 m <sup>2</sup> (自己所有) 280.00 m <sup>2</sup> (借地・秋田市)	233.9 m <sup>2</sup> (軽量鉄骨2階建) (自己所有)
グループホーム竹飛歩	343.00 m <sup>2</sup> (自己所有)	203.78 m <sup>2</sup> (木造2階建) (自己所有)
グループホームにぎやか倶楽部	292.14 m <sup>2</sup> (自己所有)	183.83 m <sup>2</sup> (木造2階建)(自己所有)
グループホーム風和里	1200.38 m <sup>2</sup> (自己所有) 527 m <sup>2</sup> (個人借地)	239.43 m <sup>2</sup> (木造平屋建)(自己所有) 59.62 m <sup>2</sup> (物置) (自己所有)
One memory	1818.96 m <sup>2</sup> (自己所有)	366.84 m <sup>2</sup> (木造2階建)(自己所有)





## 4 運営方針

社会福祉法及び知的障害者福祉法等関係法規にのっとり、サービスの提供の主体として利用者個別のニーズの充足をふまえ、その選択に応えることが出来るようサービスの質の向上を図ると共に、地域社会との実効性のある交流を深めることができるよう下記の点に留意する。

- (1) 利用者支援の充実
- (2) 職員の資質の向上
- (3) 関係機関、保護者との連携
- (4) 地域社会との交流
- (5) 予算の適性執行

## 5 支援目標

利用者支援にあたっては、個々の能力、障害の程度に応じた個別支援計画の元、個別的に、又グループ別さらに所属事業所別支援を長期的計画に基づいて実施し、日常生活の自立、社会性、協調性の向上を図り、将来家庭生活や地域社会での生活に適応できる能力を高めることを目標とする。

## 6 支援方針

### (1) 中、軽度者

個々の能力、障害の程度や特性に応じた長期的計画に基づいて、日常生活における自立と社会性の育成、地域社会における生活に適応できる能力を身につけるよう支援する。

### (2) 重度者

日常生活に必要な動作訓練、感覚訓練を基調とした行動を通じての治療教育の立場にたつて、情緒の安定及び身の自立を図ると共に、社会生活に対応できる力を養うよう支援する。

## 7 福祉サービスに関する苦情解決

### (1) 苦情解決の目的

苦情への適切な対応により、福祉サービスに対する利用者の満足感を高めることや、早急な虐待防止対策などを講じながら利用者個人の権利を擁護する。又苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑で円満な解決の促進や事業者の信頼、適正性の確保を図る。

### (2) 苦情解決委員会

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者・保護者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために以下のような体制の下、苦情解決委員会活動を行った。

(※当施設において解決できない苦情は「秋田県運営適正化委員会」に申し出ることが出来る)

- ① 苦情解決責任者 進藤香代子 (杉の木園管理者)  
伊藤 雅人 (とうふ屋丸木橋六兵衛管理者)  
横尾 寧則 (夢・究塾明日葉管理者)
- ② 苦情受付担当者 藤原 美紀 (杉の木園主任支援員)  
齊藤 孝平 (とうふ屋丸木橋六兵衛主任支援員)  
菅原千佳子 (夢・究塾明日葉主任支援員)

- ・利用者、保護者からの苦情の受付
- ・苦情内容、希望などの確認
- ・受け付けた苦情の苦情解決責任者及び第三者委員への報告

- ③ 苦情解決委員長 藤井慶博（秋田大学教育文化学部准教授）  
 苦情解決委員 石黒 薫（社会福祉法人一羊会評議員）  
 ” 渡部羊三（社会福祉法人一羊会監事）

### （3）活動報告

- 定例委員会の開催・・・平成29年1月19日(木)
  - ・ヒヤリング「利用者の意識の把握」の実施
  - ・杉の木園苦情処理活動（ボイス）の状況報告
  - ・新年度の活動計画について
- “施設サービスの第三者評価事業の実施要項”に基づいて  
 「利用者の意識の把握」についてのヒヤリングを今年度は各事業所で全利用者を対象に担当職員が聴き取る形で実施した
- ボイス（意見箱）利用状況
  - ※個別に活用された事例がなかったため、上記ヒヤリングの際に出された意見の中から本人との話し合いにより7件、要望として出された

杉の木園 2件    とうふ屋丸木橋六兵衛 3件    夢・究塾明日葉 2件  
 グループホーム 0件    計7件

事業所においては、日々、連絡帳により家庭や本人との意思疎通が図られている為、今年度も制度活用の具体例はなかったが、今後は法制度の改正、又、利用者の状況変化に伴い、これまでに無い新たな苦情発生も予想され、それらに対するきめの細かい、専門性のある対応が求められるものと思われる。（障害者権利条約の批准、障害者虐待防止法、障害者差別解消法の制定等により、障害を持つ方々への合理的配慮がどれだけ出来るかが問われてくる）

苦情解決の手段としてのボイス(意見箱)は、今年度もその設置目的に合うべく、これまでと同様な取り組みを行うと共に、職員が日常的に利用者の声を拾う、受け止める機会を多く持つよう心掛け、彼らの思いや疑問に耳を傾け、都度対応している。今後も安心して過ごせる場、働く場としての日中活動をしっかり捉えた質問、一社会人としての提言がより多く寄せられるよう、わたしたち支援員はこの活動を通して利用者の主体的な動きを生み出すべく更なる意識の構築が求められている。

## 8. 年 間 行 事

### ●花 見 会

(杉の木園)

(目 的) さくらの花を觀賞することで春の訪れを感じ、情緒豊かな時間を過ごすと共に、利用者と職員間の親睦を図る機会とする。又、一般社会と触れることで社会性及び公共の

マナーの獲得を目指していく。

(日 時) 平成 27 年 4 月 22 日 (金)

(場 所) 秋田市 千秋公園

(参加者) 利用者 28 名 職員 9 名 合計 37 名

(まとめ) 好天にも恵まれ週末だった為、大勢の人出での花見会となった。各グループ毎に露店を回りそれぞれ好きな物を購入し広場のブルーシートでゆっくりと食事を取ることができた。トイレへの拘りが強い利用者と一般客との利用方法について上手く促す工夫が必要な場面が見られた。時間に余裕があり満開の桜を堪能し、ゆっくりとした春の一日を過ごすことができていた。

(起案者：佐々木悟、松橋明人)

### (丸木橋)

(目 的) 利用者が桜を鑑賞することにより、春の訪れを感じて豊かな季節を味わうと共に利用者間の親睦を促していく。社会性及び、公共のルールやマナーを学ぶ機会とする。

(日 時) 平成 28 年 4 月 25 日 (月)

(場 所) 国花苑

(参加者) 利用者 20 名 職員 7 名 合計 27 名

(まとめ) マイクロバスで国花苑 (南秋田郡井川町) へ移動している。到着次第、桜を見ながらお弁当を食べ苑内を散策している。出店は週末の予定という事で買い物を楽しむことはできなかったが帰りは大瀧村の菜の花ロードを通り、道の駅天王でソフトクリームやジュースを購入した。

(起案者：桜庭麻也)

### (明日葉)

(目 的) 桜の鑑賞を通し季節の行事を楽しむと共に、公共のルール・マナーを守って過ごす。

また、利用者・職員の親睦を深める。

(日 時) 平成 28 年 4 月 23 日 (土)

(場 所) 秋田市 千秋公園

(参加者) 利用者 19 名 職員 6 名 合計 25 名

(まとめ) 土曜の実施となった為、平日は実習のある利用者も参加することが可能となった。

秋田駅に集合し徒歩で移動、広場にシートを敷いて過ごし、職員と利用者数名毎に出店での買い物を楽しんでいる。買い物、昼食を終えた後は皆で公園内を散策・桜鑑賞を行い秋田駅にて解散している。

利用者 2 名が第一会館でのきょうされん支部総会参加のため、職員 1 名が同行し約 30 分早く散策を終え、千秋公園を出発するという日程で実施した。

(起案者：組谷英子)

## ●社会福祉法人一羊会創立記念お祝いの会

(目 的) 社会福祉法人一羊会が創立された日を創立記念日とし、利用者・職員でお祝いする。

(日 時) 平成 28 年 5 月 20 日 (木)

(場 所) 杉の木園ホール

(参加者) 利用者：6 8 名 職員：2 9 名 その他：6 名 合計 1 0 3 名

(内 容) ①スライドショー「平成 1 8 年～平成 2 6 年の親子 1 泊旅行の思い出」

②統括より「一羊会の成り立ちについて。11/1 の開所記念日→5/22 の創立記念日を

お祝いの会とした経緯について等を交えた内容」  
「親子1泊旅行が今年度で終了する経緯についての説明」

(まとめ) 11月に行なっていた開所記念日を今年から5月の「一羊会創立記念日お祝いの会」として行なうこととなり、参加者みんなで確認する機会となった。スライドショーを見ながら親子1泊旅行の思い出を振り返り、最後になったことは残念であったが、統括からの話を聴き納得している様子であった。昼食を食べ、午後からは各事業所に戻り、自治会主催のお楽しみ会をそれぞれ楽しく過ごせていた。

(起案者：菅原千佳子、山崎唯史、藤田聡人)

## ●中央地区スポーツ交流会

### (杉の木園)

(目的) 県内の知的障害者が各種のスポーツを通じて交流を図りながら、体力の維持強化につなげると共に、障害者に対する県民の理解と認識を深め、社会参加意欲の向上を努めることを目的とする。

(日時) 平成28年7月5日(火)

(会場) 秋田県立体育館 秋田市八橋運動公園 1-12

(参加者) 杉の木園利用者 20名 職員 10名 保護者 10名 合計 40名

(日程) 9:00 受付

9:35 整列

9:45 開会式

10:00 競技開始 (①玉送りリレー ②PKサッカー ③綱引き)

12:00 昼食

12:45 レクリエーションダンス

13:20 競技開始 (④大玉転がし)

14:20 閉会式

14:40 解散

(まとめ) 前年と同競技でもあり、前もって室内レクリエーションの時間で練習を行なえ当日は競技にスムーズに参加することができていた。

全員が1種目以上に参加できていた。司会のシャバ駄馬男さんや秋田のご当地ヒーロー「ビートファイター」と一緒に他施設とスポーツを通じ交流することができていた。

(起案者：伊藤匡、石黒はま子)

## ●納涼祭

(日時) 平成28年8月6日(土)

(場所) 杉の木園

(目的) ①夏の夕べのひとときを利用者、保護者、職員、地域の人々が一堂に会し、相互理解を深め出店での買い物や飲食、また、盆踊り、余興などの参加を通して納涼祭を楽しむ。

②「自分たちの祭り」に向けて、ポスター、チラシ、看板(出店)等の制作活動や盆踊りに参加すること、さらに利用者自治会への協力と参加を促すことで、社会性を養って

いく。

- (共 催) 仁別町内会、藤倉町内会、丸木橋町内会、藤倉学区「長生きクラブ」  
杉の木園保護者会  
(協 賛) 太平山観光開発株式会社  
(協 力) 秋田青年会議所

【第1回実行委員会】平成28年7月5日(火) 杉の木園ホール

【第2回実行委員会】平成28年7月21日(木) 杉の木園ホール

### 【当日プログラム】

- 16:00 開会セレモニー ポスターコンクール表彰式  
16:30 盆踊り (各曲1回)  
16:45 余興1 (ザ・スーパーインプレッションによるコンサート)  
17:25 盆踊り (各曲1回)  
17:30 お楽しみ抽選会  
18:00 余興2 (ヤートセ演舞1曲)  
18:25 閉会

出店の種類=10店舗

- 食 品 : やきそば 焼き鳥 冷奴 豆乳アイス フライドポテト  
トウモロコシ、玉こんにゃく …7店  
飲 料 : ジュース …1店  
ゲーム : ディズニーヨーヨー 文具くじ …2店

(まとめ)

今年度から会場の敷地が広くなり、各出店は例年よりスペースにゆとりをもって配置できたと思います。今年度もプログラムに抽選番号をつけて配布しました。納涼祭は天候にも恵まれ、準備、片づけ等もスムーズに行うことができました。余興ではザ・スーパーインプレッションによるゴスペルや利用者職員でヤートセ踊り来客、利用者ともに盛り上がることができました。昨年度行った抽選会は好評だったので来年度以降も継続していきたいと思います。販売では、旧藤倉学区「長生きクラブ」が今年度初出店しつけもの等の販売が大盛況！でした。当日は猛暑で日よけもなく、厳しい暑さの中での開催となりました。今後暑さ対策、開催日の検討が必要になると思われます。また、丸木橋町内会より、出店を毎年同じにしないでほしい。などの意見がありました。これらを来年度の課題として検討し、さらに盛り上がる納涼祭にしたいと思います。

(起案者：藤原美紀、藤田聡人、齊藤孝平、佐々木あずさ、工藤貴紀)

## ●親子一泊旅行

- (目 的) 親子一泊旅行を通し利用者、保護者、職員相互の親睦を図り、親子の絆を深める機会にしてい  
く。また、社会参加の助長を図ると共に今回最後の親子一泊旅行となる為、3事業所合同で楽し  
い思い出づくりをする事を主旨とする。  
(日 時) 平成28年7月1日(金)～2日(土)  
(行 き 先) 仙台・山形方面「仙台うみの杜水族館&鳴子温泉」 1泊2日

(日 程) 1日目 杉の木園発→秋田駅東口→武田の笹かまぼこ(昼食)→仙台うみの杜水族館見学  
→やくらいガーデン見学 →鳴子観光ホテル

2日目 鳴子観光ホテル→天童さくらんぼ狩り→ 昼食→最上川船下り→秋田駅東口

(宿泊先) 鳴子観光ホテル(0229-83-2333)

(交通手段) 大型貸切バス(ガイドつき)

(参加者) 利用者 杉の木園 12名 丸木橋 12名 明日葉 16名  
保護者他 杉の木園 17名 丸木橋 14名 明日葉 17名  
役員 2名 職員 29名 合計 119名

(まとめ) 今回で最後となった親子一泊旅行は、仙台うみの杜水族館を始め、山形天童さくらんぼ狩り、最上川の船下りなどイベント盛りだくさんの旅行となりました。  
各場所での見学、散策を親子で楽しむ姿が多数見られました。夜の大宴会では各事業所が工夫を凝らした余興披露し、会場は大盛り上がりでした。最後の親子一泊旅行はとても思い出深い満喫旅行となりました。

(起案者：藤原美紀、小松健一、齊藤幸平、山崎唯史、柴田三郎、菅原千佳子)

## ●総合防災訓練

(目的) 利用者・職員の人命尊重と安全確保のために、あらゆる被害を最小限に抑えることを目的に避難訓練を実施する。

(日時) 平成28年10月13日(水)

(場所) 杉の木園(東日本大震災規模想定)

(参加者) 利用者 30名 職員 15名 合計 45名

(日時) 平成28年10月12日(水)

(場所) とうふ屋丸木橋六兵衛 とうふ工房ガスコンロ

(参加者) 利用者 20名 職員 7名 合計 27名

(日時) 平成28年10月20日(木)

(場所) 手形水道山の麓に位置する夢・究塾明日葉において突然のゲリラ豪雨にて建物周辺に鉄砲水が発生して避難開始を想定。

(参加者) 利用者 21名 職員 7名 合計 28名

(まとめ)

今回の避難訓練は、各事業所毎に行い、消防署立ち合いでの訓練だったが(杉の木園・丸木橋)スムーズな避難が出来ている。ただ、消防署の都合により、明日葉は立ち合いなしでの訓練となったが大きなトラブルもなく行うことが出来ている。今後も消防署に派遣依頼して危険個所の確認や講評を受けることも今後の課題として取り組むこととした。

(起案者：安全管理委員会 柴田)

## ●体力測定

(目的) 健康増進のための運動やレクリエーションを行なうことで心身のリフレッシュを図ると共に体力維持強化に努め、個々の体力、運動量の程度を測ることを目的とする。

(日時) 平成28年10月26日(水)

(場所) 秋田県立武道館・小道場

(参加者) 利用者 62名 保護者 32名 職員 33名 合計 127名

(種 目)

- ①上体起こし (筋持久力)      ②長座体前屈 (柔軟性)      ③反復横飛び (敏捷性)  
④立ち幅跳び (跳躍力)      ⑤時間往復走 (持久力)      ⑥握力 (筋力)

(自治会スポーツ交流会)

- 玉送りリレー      ○つなひき      ○マイムマイム

(まとめ)

1年に1回の大事な行事ではあるが、利用者の方たちも年齢を重ね筋力が衰えてきているのも実情として認識することができた。午前午後と体力測定の種目や自治会スポーツ交流会を通して、利用者、保護者、職員みんなで取り組める行事は改めて良いものだった。毎年続けていけるよう、日々の生活の中で体力面、健康面に考慮しながら次年度に繋げられればと思う。

(起案者：藤田聡人、佐々木悟、齊藤孝平、桜庭麻也、赤坂宏秀)

### ●きょうされんグッズデザインコンクール

(目 的) きょうされん会員の一員として、事業所毎にコンクール入賞・入選を目指した絵画活動を行い、各利用者の力作1点を選び、きょうされんグッズデザインコンクールへ応募する。

(日 時) 平成28年11月16日(水)～17日(木)

第9回グッズデザインコンクール選考会

(応募者) 杉の木園      利用者      30名  
丸木橋      利用者      20名  
明日葉      利用者      21名

今年も全国1, 700点作品、208事業所から応募がありました。

(入賞者)

<アートグッズ部門> 『手を伸ばしても届かないもの』 伊藤 利明 (杉の木園)  
<カレンダー部門> 『宇宙』 鈴木 翔子 (杉の木園)

(入選者)

『菖蒲』      小野崎 都 (とうふ屋丸木橋六兵衛)  
『とうふギョウザ』      小松美緒 (とうふ屋丸木橋六兵衛)

\*19年連続の入賞・入選という快挙を更新しました。

(起案者 藤原 美紀)

### ●心いきいき・芸術文化祭

(目 的) 障害者の芸術・文化活動への参加を通して、障害者本人の生きがいや自身を創出し、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する県民の理解と認識を深めることを目的として、心いきいき芸術・文化祭に参加する。

(日 時) 平成28年11月10日(木)～11月11日(金)

(場 所) 秋田拠点センターアルヴェ      秋田市東通仲町4-1

(主 催) 秋田県・秋田県障害者社会参加推進センター

(内 容) 概略

- 障害者福祉展      杉の木園 利用者 (工芸)  
とうふ屋丸木橋六兵衛 利用者 (絵画)



夢・究塾 明日葉 利用者（絵画）

○製品販売 : とうふ屋丸木橋六兵衛（豆腐、惣菜、シフォンケーキ等）

（まとめ）

・杉の木園

障害者福祉展には利用者共同で創り上げた工芸『恐竜（たまご殻の貼り絵）』を出展している。

また、初日の10日（木）午後に園外活動として障害者福祉展の見学に出掛けた。自分達の制作した工芸「恐竜」や他の事業所の出展作品を鑑賞し創作の楽しさを共感し、来年度出展への更なる意欲を持つ事ができている。

・丸木橋

障害者福祉展に利用者個人の絵画を2点出展している。16日（水）の午後に見学に行っている。また、この日はアルヴェ1Fきらめき広場にて販売も行っている。

（起案者：佐々木あずさ）

・夢・究塾明日葉

個人で絵画を3点出展している。開催期間中は見学へ行き、他事業所の出展作品を鑑賞している。二日目には販売を行なっている。

（起案者：横尾寧則）

## ●クリスマス会

（杉の木園）

（目的）自治会主催の行事として役員、会員が協力し一つの行事を作り上げていく動きを身につけていく。職員・利用者で会食などを楽しむことで交流を深め、心身のリフレッシュを図る。

（日時）平成28年12月24日（土）

（場所）杉の木園 ホール

（参加者）クリスマス会：杉の木園利用者 26名 職員 11名 計 37名  
会食：杉の木園利用者 26名 職員 15名 計 41名

（プログラム）

10:00 きよしこの夜（歌）

10:05 紙芝居

10:15 職員によるマジックショー

10:35 サンタクロースからのプレゼント

11:30 会食・ケーキ

（まとめ）今年もホールでの杉の木園のみのクリスマス会だった。クリスマスソングを聴きながらゆっくりした時間を持つことができ、紙芝居も明るい内容のためか皆聴き入っていた。職員によるマジックショーも好評でサンタクロースからのプレゼント時は大いに盛り上がり楽しんでいた。

（起案者：加藤琢磨・石黒はま子）

（夢・究塾明日葉）

（目的）季節の行事を楽しみ、利用者・職員相互間で親睦を深める。

（場所）夢・究塾明日葉 食堂

（参加者）利用者 20名（欠席者 1名）

職員 7名

合計 27名

（プログラム）

10:00 クリスマス会説明・ゲーム大会

11:00 ケーキ会食

11:30 終了・後片付け

(まとめ) ゲーム大会では5グループに分かれ、チーム対抗の神経衰弱ゲームを行なった。自分のチームだけでなく他のチームの人が挑戦している時にも「こっちこっち」「それじゃないよ」などと声を掛け合いながら盛り上がっていた。ケーキは数種類用意し、順番に好きなものを選んで食べている。

(起案者：加藤琢磨・石黒はま子)

## ●もちつき会

(目的) 年末にあたり、一年の労をねぎらうと共に、もちつきを通し連帯感を高め、翌年のさらなる健康と無事を祈願する。

(日時) 平成28年12月28日(水)

(場所) 杉の木園ホール (昼食) 食堂、杉の木園ホール

(参加者)	杉の木園	利用者	27名	職員	18名
	丸木橋	利用者	20名	職員	6名
	明日葉	利用者	21名	職員	5名

職員・その他 理事長、大富、森田さん、GH世話人・生活支援員(7名)

【ずっと男子：3名(泉、鷲谷、羽沢) ずっと女子：1名(丸山)、風和里：0名、竹飛歩：2名(小松、佐々木孝廣)、にぎやか倶楽部：1名(三浦はるみ)】 合計 107名

(まとめ)

今年も大潟村の森田さんより、もち米を頂き例年通り、もちつきを実施した。

利用者の餅つきについては、各グループ2名の利用者についてもらう形とした。今年よりGH世話人・生活支援員ももちつきに参加して、利用者と一緒に行事を通じて交流を深めることができた。利用者が互いに協力でき無事に年越しの行事を締めくくることができた。

(起案者：工藤貴紀、山崎唯史、藤田聡人、鈴木博人)

## ●厄払い

(日時) 平成29年1月27日(金)

(場所) 太平山三吉神社

(目的) 神社で厄をお祓いしてもらい一年間を無事、健康に過ごせるよう祈念するとともに、参加者で昼食会を催し親睦を深める。

(参加者) 利用者3名(杉の木園2名 明日葉1名) 職員2名 保護者4名 合計9名

(日程) 10:50 杉の木園 出発

11:15 三吉神社 到着

11:30 お祓い

終了後 移動

12:15 昼食会(暖や 秋田大学病院前店)

終了次第 杉の木園へ出発

(まとめ) 本厄対象者2名と昨年参加できなかった後厄1名での実施となった。今年度は保護者にも参加を呼びかけ2名の利用者が両親と一緒にお祓いを受けている。スーツを新調し普段なかなか見ることのできない正装姿が印象的であった。

(起案者：伊藤匡 小松健一)

## ●年度終了式

(目 的) この一年の生活をふり返り、評価・反省を含め無事に過ごせたことを感謝し、新しい年度に向けて更なる成長を願い気持ちを新たにする。

(日 時) 平成29年3月30日(木)

(場 所) 杉の木園ホール

(日 程) 会場設定…前日に行う。

9:30 3事業所利用者 杉の木園登園、朝の会

<年度終了式>

1. 開会のことば

2. 歌「あしたのゆめ」斉唱

3. 統括挨拶

4. 各グループメンバー紹介

①各事業所管理者より 事業所毎の今年度のふり返りのことば

②各グループ担当職員より メンバーの名前を呼びふり返りのことば

5. 各事業所 歌発表 杉の木園 :「みんながみんな英雄」

丸木橋 :「海の声」

明日葉 :「RPG」

6. 自治会会長挨拶(伊藤由紀子)

7. 閉会

11:30 昼食(八幡平ポークミックス弁当)

(まとめ)

「あしたのゆめ」斉唱。みんなの大きな歌声がホールに響きわたり、式がスタートしました。各グループメンバー紹介では名前を職員が呼び、一人ひとりが立ち上がっていく様子はとても凛々しく感じました。各事業所での歌発表では各々が主役となり、今日の日まで練習してきた成果をみんなで聴くことが出来た時間はとても楽しく過ごせたと思います。

昼食では八幡平ポークを使用したミックス弁当を食べ、量もボリュームがあり満足した表情も多く見られました。式終了後は各事業所で1年間を振り返り、新年度より事業所が変わる人もいた為、同じメンバーでいられる最後の時間をゆっくりと過ごす事ができました。

(起案者: 藤原美紀 藤田聡人 組谷英子)

## 9. 委員会

### ◎人権を護り自立を支える委員会

メンバー: 齊藤孝平委員長 ※後任(伊藤雅人)

佐々木悟、加藤琢磨、藤田聡人、菅原由真、伊藤匡

実施日・検討事項

実施日	検討内容
平成28年4月14日	① 委員会の目的、年間計画について確認 ② 一羊会職員倫理綱領、障害者権利条約について ③ 平成28年事業計画について ・倫理綱領及び行動規範の遵守、確認 ・人権思想、権利擁護についての研修会 ・利用者との学習会 ・自治会への支援 ④ その他

平成 28 年 6 月 14 日	① 事業計画の確認 ・ 倫理綱領確認の進捗状況について ② 利用者学習会の内容について ③ 自治会への支援について ・ 納涼祭（チラシ、ポスターコンクール） ・ 役員について ④ その他
平成 28 年 9 月 8 日	① 事業計画の確認 ・ 倫理綱領確認の進捗状況について ・ 差別解消法の研修会について ② 利用者学習会の内容についての振り返り ③ 自治会への支援について ・ スポーツ交流会について ④ その他
平成 29 年 1 月 18 日	① 平成 28 年度事業計画の確認 ・ 倫理綱領確認の進捗状況について ・ 研修委員会との合同研修会について ・ 利用者との学習会について ② 自治会への支援 ・ 自治会主催お楽しみ会について ・ 自治会全体会について ・ 自治会役員選挙について ③ その他

#### 1. 職員倫理綱領及び行動規範の遵守、確認

各事業所の会議の時間を利用して、読み合わせの機会を設けてきた。事業所によって読み合わせの仕方が様々であり事業所によっての理解や捉え方に差があったことが反省点として挙げられる。次年度はなぜ倫理綱領ができたかを考え、より実践に活かせるようにしていきたい。

#### 2. 人権思想・権利擁護についての研修会 ※研修委員会との合同研修会

平成 29 年 1 月 7 日（土）13：45～杉の木園ホールにて実施。

障害者虐待防止・権利擁護についての研修会を行っている。平成 28 年 10 月 17 日～18 日に行われた研修復命を中心に、障害者虐待防止法施行後の状況等を確認し、自分たちの事業所での生活と照らし合わせながら考える研修となった。

#### 3. 利用者との学習会

「参議院通常選挙」について利用者との学習会を実施したが、利用者に対して説明するためには、職員が選挙について熟知している必要性を感じた。

#### 4. 自治会活動への支援

今年度は役員改選の年であったため、新役員で一年がスタートした。月 1 回の自治会役員会開催時は、その 8 名の中から事業所ごとに 1～2 名のオブザーバーが参加している。

自治会の活動の内容としては、「今月の目標」の実施、納涼祭への参加、わたしたちも参加しよう募金運動、週刊誌（ザ・テレビジョン）の購入等を行った。また、事業計画として会員に説明した行事（3 事業所合同お楽しみ会、開所記念お楽しみ会等）も意欲的に取り組み、きょうされんの署名・募金運動への参加、きょうされん本人部会「たんぼの会」への参加なども行った。

自治会活動を展開していくうえで、利用者の方々がしっかり理解できるような説明の仕方を初め、会の進め方などに配慮が出来るよう職員の力量を高めることがさらに望まれる。

### ◎研修委員会

メンバー：小松健一（委員長）

菅原千佳子、工藤貴紀、山崎唯史、鈴木博人、伊藤春樹（書記）

（実施日・検討事項）

実施日	検討内容
平成 28 年 4 月 7 日	① 平成 28 年度 事業計画の内容確認 ② 平成 28 年度 研修計画表 役割分担について ③ その他
平成 28 年 12 月 15 日	① 平成 28 年度事業計画の進捗状況について ② 役割分担について

（実施内容）

平成 28 年度施設内職員研修実施状況

月	研修内容	講師・発題者
7 月 7 日	アンガーマネジメント研修②（応用編）	講師：杓沢佳子先生（嘱託医）
1 月 7 日	研修復命「障害者差別解消法」	発題者：外部研修参加者 （横尾、藤原、小松）
1 月 11 日	感染症予防研修（ノロウィルス予防）	DVD 研修（ノロウィルスと食中毒と感染症）～市保健所より～
2 月 25 日	手話研修「役立つ日常会話（手話）」	講師：秋田県聴力障害者協会 森 真美（ろうあ者）

（まとめ）

嘱託医を講師に招いての研修はGH職員も対象にした2回目の研修であり、今回も好評だったため今後も対象を事業所職員に限定せず、法人職員全体の資質向上のための研修を開催していきたい。また、今年度は4月に障害者差別解消法が施行され、年度当初に研修開催を予定していたが外部研修に参加した職員が報告研修を行った。研修の開催時期が大幅にずれ込むことがあるため次年度以降は計画的に実施できるようにしていきたい。

## ◎地域広報活動委員会

メンバー：藤原美紀（委員長）、伊藤雅人、藤田聡人、工藤貴紀、赤坂宏秀、菊地真由子、深浦ますみ

（検討事項）

実施日	内容	実施日	内容
平成 28 年 4 月 8 日	今年度計画について 一羊会便りについて	平成 28 年 10 月 3 日	一羊会便りについて 会報丸木橋について
平成 28 年 5 月 2 日	一羊会便りについて 会報丸木橋について	平成 28 年 11 月 10 日	一羊会便りについて
平成 28 年 6 月 6 日	一羊会便りについて 会報丸木橋について	平成 28 年 12 月 5 日	一羊会便りについて 除雪奉仕について
平成 28 年 7 月 9 日	一羊会便りについて 納涼祭について	平成 29 年 1 月 12 日	一羊会便りについて 会報丸木橋について
平成 28 年 8 月 5 日	一羊会便りについて 納涼祭振り返り 敬老の日プレゼント	平成 29 年 2 月 6 日	一羊会便りについて 事業報告について
平成 28 年 9 月 5 日	一羊会便りについて 会報丸木橋について	平成 29 年 3 月 7 日	一羊会便りについて 定期連絡会議について 事業計画について

### 1. 地域の一員としての役割

#### ①ボランティア活動の実施

- ・ クリーンアップー各施設周辺、道路などの清掃

事業所	回数	
杉の木園	20	藤倉上台バス停、仁別、藤倉方面
とうふ屋丸木橋六兵衛	3	施設周辺、丸木橋バス停、丸木橋・藤倉町内など
夢・究塾明日葉	2	施設周辺、バス停周辺道路

- ・ 除雪奉仕（杉の木園）9軒

○仁別町内（4軒）

氏名	回数
三浦 ナヨさん	9
三浦ユキコさん	3
斎藤 タマさん	11
熊谷 静江さん	9
回数	32

○藤倉町内（5軒）

氏名	
斎藤 由紀子	6
佐々木 順子さん	5
石井 智恵子さん	1
豊島 ヨシエさん	2
鈴木 春子	2
計	16

今年度も杉の木園で除雪奉仕に取り組んでいる。

②定期連絡会議の実施（年3回）

…納涼祭に向けて（実行委員会）……7月5日（火）7月21日（木）

…今年度の事業報告と意見交換 ……3月24日（金）

## 2. 地域の社会資源としての役割

①職場体験実習生や研修生の受け入れ

・職場体験実習生

月	学 校 名	延べ人数
5	天王みどり学園	1
	特別支援学校	1
6	栗田支援学校	9
	特別支援学校	1
7	栗田支援学校	4
8	特別支援学校	1
9	特別支援学校	1
	栗田支援学校	1
10	栗田支援学校	1
11	栗田支援学校	6

	天王みどり学園	1
1 2	栗田支援学校	3
計		3 0

・研修生

月	学 校 名	人数
8	秋田大学医学部保健学科学生	4
9	秋田大学医学部保健学科学生	4
計		8

・見学者

月	内 訳	人数
7	由利支援学校 保護者	4
8	栗田支援学校 教諭	1 3
	秋田大学教育文化学部 藤井准教授	1
	由利支援学校 教諭	1
	湯沢東小学校 教諭	1
9	秋田大学教育文化学部 学生	4 0
1 1	栗田支援学校 小学部	7
	秋田大学	7
	湯沢市役所障害福祉課	2 6
	栗田支援学校 小学部	7
	栗田支援学校 中等部	1 5
1 2	栗田支援学校	1 5
1 0	栗田養護学校	1 6
3	(株)ユナイテッドリニューアブル	1
	(株)レノバ	2
	朝日新聞	1
	ポコラート秋田	1
計		1 5 8

②ボランティアの受け入れ

(生活、作業支援ボランティア) 一般・保護者 延べ人数

事業所名	延べ人数
杉の木園	1 5 6
丸木橋	1 9 1
明日葉	7 4
丸木橋売店	1 7
計	4 3 8

3. 行事を通じての地域との交流

①三町内会(丸木橋、藤倉、仁別)共催による行事の実施

「納涼祭」平成28年 8月6日(土)

参加者：約 234人（昨年度より60人程度減少）

天候にも恵まれ、広くなった会場で三町内会始め協力してくれた皆さんと共に  
楽しい夏のひと時を過ごすことができました。

## ②お年寄りとの交流

### 「敬老奉仕活動」

敬老の日に合わせて、4町内107名の地域のお年寄りの方々に、感謝の気持ちを込めて、とうふ屋丸木橋六兵衛の「黒ごま・濃い絹」をセットにしてプレゼントしました。

## 4. その他（交流・理解促進また啓発活動の計画実施）

- ・杉の木園便り、会報『丸木橋』の配布・回覧依頼

（まとめ）

「地域交流活動」「広報活動」を主に活動してきました。緊急時に協力しあえるような体制作りや地域の中で相互交流、連携を図る必要があります。また、イベントを盛り上げるなど地域の方々と協力しながら地域の活性化に努めていきたいと思えます。

## ◎安全管理委員会

メンバー：柴田三郎（委員長）小松健一、齊藤孝平、赤坂宏秀、松橋明人、横尾寧則（書記）桜庭麻也

[実施日・検討事項]

平成28年 4月15日	1. 書記選出 2. 今年度事業の確認 (1) 防災対策 ・防災マニュアル修正について ・年間の避難訓練の実施予定について確認 等 (2) 視聴覚教材について (3) 通所時の事故防止について ・マイクロバス添乗マニュアルの内容確認 等 (4) 施設内の事故防止 ・建物管理チェックリストについて 等 (5) 交通事故防止について ・交通安全週間のポスター作成、交通安全教室の実施 等
平成28年 7月14日	1. 計画書の実施状況確認について 2. 総合防災訓練について 3. 施設、設備管理について 4. 車両管理について 5. その他



平成28年 10月6日	1. 計画書の実施状況確認について 2. 総合防災訓練について 3. 施設、設備管理について 4. 路線バス添乗について 5. 車両管理について 5. 交通安全教室について 5. その他
平成29年 1月14日	1. 計画書の実施状況確認について 2. 降雪時の消火訓練（避難訓練）について 3. 施設、設備管理について 4. その他

[その他 実施日等]

防災訓練	≪消火訓練≫丸木橋 4月16日 明日葉 4月19日 杉の木園 4月26日 ≪震災訓練≫杉の木園 6月13日 丸木橋 6月13日 明日葉 6月16日 ≪救護訓練≫明日葉 11月15日 杉の木園 11月22日 丸木橋 12月14日 ≪降雪時消火訓練≫明日葉 2月7日 杉の木園 2月15日 丸木橋 2月15日	
路線バス支援 ※毎月1回 ≪登園時≫ 秋田駅→バス内→事業所 ≪降園時≫ バス停→バス内→秋田駅	≪仁別・リゾート公園線≫ ※杉の木園、丸木橋コース	≪大学病院線≫※明日葉コース
総合防災訓練 ※今回の総合防災訓練は 各事業所毎に実施	通報訓練は実施。 杉の木園・丸木橋は消防署立ち合いで実施しているが、 明日葉は消防署に都合で立ち合いなしで実施している。 ・明日葉 平成28年9月10日 ・杉の木園 平成28年9月12日 ・丸木橋 平成28年10月20日	
交通安全教室 平成28年11月9日 ～11日 JAF秋田支部	・夢・究塾明日葉 11月9日 ・とうふ屋丸木橋六兵衛 11月10日 ・杉の木園 11月11日	

(まとめ)

防災訓練計画にある避難訓練については、ほぼ計画通りに実施することができたが、事業所ごとに実施時期にずれが見られた。

訓練毎に、消火器の使用期限及び、自家用発電機、避難具（縄はしご）等の点検を実施し、(GH含む)災害時の意識向上にも繋げた。

◎食と健康管理委員会

メンバー：菊地真由子（委員長）、組谷英子、石黒はま子、松橋洋子、佐藤麗子、深浦ますみ

(伊藤雅人)

(実施日・検討事項)

実施日	検討内容	実施日	検討内容
平成28年 4月8日	1. 年間計画について 2. 4月の活動について	平成28年 5月6日	1. 総合健康診断振り返り 2. 嘱託医健診振り返り

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合健康診断（1回目）</li> <li>3. セレクトメニューについて</li> <li>4. 嘱託医健診について</li> <li>5. 給食の献立について</li> <li>6. 職員研修について</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 給食の献立について</li> <li>4. 職員研修について</li> </ul>
平成 28 年 6 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 嘱託医健診について</li> <li>2. 給食の献立について</li> <li>3. セレクトメニューについて</li> <li>4. スポーツ交流会について</li> </ul>	平成 28 年 7 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 給食の献立について</li> <li>2. セレクトメニューについて</li> <li>3. 流しそうめんについて</li> </ul>
平成 28 年 8 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 給食の献立について</li> <li>2. 流しそうめん振り返り</li> <li>3. お盆中の給食について</li> </ul>	平成 28 年 9 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 給食の献立について</li> <li>2. セレクトメニューについて</li> </ul>
平成 28 年 11 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 給食の献立について</li> <li>2. セレクトメニュー振り返り</li> <li>3. 総合健康診断（2回目）について</li> <li>4. 森田さんの新米について</li> </ul>	平成 28 年 12 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 給食の献立について</li> <li>2. セレクトメニューについて</li> <li>3. クリスマスメニューについて</li> <li>4. 検食簿の記入について</li> <li>5. 総合健康診断（2回目）振り返り</li> <li>6. 森田さんの新米御礼について</li> </ul>
平成 29 年 3 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 3 月 11 日昼食メニューについて</li> <li>2. 年度終了式の     昼食メニューについて</li> <li>3. 春の健康診断について</li> <li>4. H28 年度事業報告書・     H29 年度事業計画書について</li> <li>5. 給食メニューについて</li> </ul>		

（まとめ）

今年度は利用者の給食について検食簿所感を元に業者との話し合いを毎月行い、食事メニューの見直しやパン食時の個別対応、刻み食対応の実施依頼など積極的な意見交換を行なった。また、セレクトメニューは3事業所合同で年2回実施、涼を楽しむための『流しソーメン』も三事業所で実施し、利用者にとって楽しめる給食について検討してきた。研修委員会との合同研修会として嘱託医の沓澤先生を講師にGH職員も交えアンガーマネジメント研修を行った。

保健衛生面では、食品製造場面や販売場面といった各事業所での状況を確認したり、それぞれの対応や共通とされるものについての対応を行ってきた。感染症についても委員会で話し合い、各事業所間でも確認をしている。ソリューションウォーター（次亜塩素酸ソーダ）を積極的に使用し今後も細かい確認を行いながら衛生面においても十分配慮していきたい。

◎セレクトメニューの結果について

目的：利用者の選択する力を伸ばすと共に楽しく、又豊かな食事の時間となることを目的とする。

実施方法：利用者に分かりやすいよう、ルビやメニューの写真が書かれた事前調査用紙を作成し、これを自宅に持ち帰り記入する。（選択の難しい利用者については保護者の協力を得ながら）当日はセレクトメニューの事前説明を行い、メニューについて関心を持ってもらい、本番に望む流れを定着してきた。又、本番では、セレクトするメニューに対し、正面から選べるよう配慮したり、写真やイラストをメニューの上に貼り、利用者にとって分かりやすく選択できるように工夫してきた。

\* 6 月・2 月 年 2 回 セレクトメニュー実施。

第 1 回 6 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>皿麺対決</li> <li>・塩たれ冷やし中華</li> <li>・汁なし坦々麺</li> </ul>	三事業所合同で実施。二種類の麺メニューからセレクト。季節に合わせたメニューから、楽しく選ぶことができた。結果は杉の木園・明日葉が塩たれ中華
-------------------	--	---

第2回 2月25日	ラーメン対決 ・五目あんかけラーメン ・野菜たっぷりタンメン	と丸木橋が汁なし坦々麺であった。 三事業所合同で実施。大人気メニュー『ラーメン』 二種からセレクト。出来立てを選んで楽しく食事す ることが出来た。結果は杉の木園がタンメン、丸木 橋と明日葉が五目あんかけであった。
--------------	--------------------------------------	--

\* 特別食 11月（開所記念）・12月（クリスマス）・1月（新年会）・3月（年度終了式）

## ●保健衛生

（めあてと留意点）

利用者が日常生活を健康的に送ることが出来るよう、家庭との連携の下、利用者の既往歴を的確に把握し疾病の早期発見、早期対応に努める。又、危険防止に留意し、活動時間内の怪我を未然に防ぐと共に、服薬を要する利用者への配慮や情緒の状態に対する細かい目配りを重視する。

身体状況についての総合健康診断と、精神科嘱託医による健診を定期的実施し必要に応じて専門医の助言・指導を受ける。

日常生活を通じて手洗いの徹底、食後の歯磨きやうがいの励行を習慣化する。肥満予防対策として利用者に食生活と運動の両面から関心と注意を促しながら“健康な生活”についてのイメージを育てていく。  
…以上の視点から下記の活動を進めてきた。

## ○健康診断

### 第1回総合健康診断

（実施日） 全事業所 4月14日（木） 杉の木園にて

※明日葉は秋田県総合保健健康センター受診

（検査項目）〈10項目〉

身体測定（身長・体重）、聴力、視力、尿検査、血圧、採血、心電図、X線、問診、腹囲

（受診状況等）

第一回目の総合健康診断は、採血や心電図、X線といった利用者にとって受けるストレスの大きい検査項目がある。項目によっては受診が難しい利用者について、挑戦はしてみるものの決して無理のない範囲で留めて支援を行っている。また、今年度も検診車への乗り込みが難しい利用者1名、明日葉と共に秋田県総合保健センターで全項目を安全に受診している。今後も必要に応じて受診場所を変更するなどし、全員が受診できる工夫を行っていく。利用者の健康状態の把握は人権を擁護することに直結する課題であるということを常に認識していくことが重要と感じられる。

明日葉は昨年度同様、秋田県総合保健センターでの受診。利用者の自立度の高さもありスムーズに受診する事ができている。公の場でのルールやマナーなど、社会人として必要なものについても事前学習等で伝達を図っている。

	摘要	男性	女性	合計
総合判定	受診者数	53	13	66
	異常なし	3	1	24
	経過観察	31	5	36
	要精検	6	1	7
	要医療			
	治療中	13	6	19
	その他			

	男性	女性	合計
--	----	----	----

肥満 (BMI 25.0 以上)	25	4	29
------------------	----	---	----

## 第2回総合健康診断

(実施日)

杉の木園・丸木橋・明日葉	11月24日
--------------	--------

(検査項目)〈6項目〉 身体測定(身長・体重)、聴力、視力、尿検査、血圧、腹囲  
(受診状況等)

秋の総合健康診断は検査項目が少ないため、三施設合同での受診とした。受診前後の支援についてはおおむね春の総合健康診断と同様の流れである。

総合判定	摘要	男性	女性	合計
	受診者数	51	16	67
	異常なし	19	6	25
	経過観察	16	3	19
	要精検	3	2	5
	要医療			
	治療中	13	5	18
	その他			

	男性	女性	合計
肥満 (BMI 25.0 以上)	20	3	23

### ○嘱託医による定期健康診断

精神科嘱託医師(杓沢佳子氏)による健診を利用者人数の増加と、今まで以上にケアの必要性が増していることから受診回数を年4回から偶数月の年6回に増やし実施し、各利用者は年度内の受診計画を立てている。受診間隔が短くなったことでより利用者の現状に添った受診ができた。ケアの必要性や、緊急性を要するケースについては都度の専門機関の受診を実施する他、保護者も同席の上で受診に臨むケースもある。いずれの場合も同席する職員にとっては新たな知識や支援の視点の習得の場とも言える。

青年期自閉症からくると思われる精神的・心理的に不安定な状況を示すケースも増えてきており、本人はもとより集団の場での不安や混乱を軽減し、より安定した日常を展開できるよう、保護者への理解と連携を深めながら、今後もさらに一歩進んだ精神科医との連携が重要課題となってくるものと思われる。

### ○衛生管理

ノロウイルス対策や冬季におけるインフルエンザ(新型、季節型)予防対策の一環として手洗い・うがいの励行、ソリューションウォーター(次亜塩素酸ソーダ)による手指や製造器具等消毒の徹底に取り組んできた。食品製造、集団職場実習で食品会社と深く携わる機会があり、衛生管理について強い意識を持つよう確認している。こうした観点からも今後も衛生面については身近な課題として検討していく必要がある。その他委員会では、利用者の日常における衛生管理面での諸問題について必要な活動を行ってきている。